

元気の秘訣は「会話」と「ドリル」 熊澤スツ子さんが100歳に

熊澤スツ子さん(山田)が、3月2日に100歳を迎えられました。熊澤さんは旧花泉町の出身で、19歳で大船渡市に嫁いだ後は、出兵した夫に代わり、アフビなどの採取で生計を立てていたそうです。現在は、3人の子どもと4人の孫、8人のひ孫に恵まれ、震災後に本町へ移り、娘家族と暮らしています。元気の秘訣は「おしゃべり」とデイサービス施設の職員から渡される「勉強ドリル」への挑戦。毎回全ての問題に回答し「次はどんなドリルが来るかな」と、楽しみにしています。



いわてグルージャ盛岡の2選手 町PR隊員として表敬訪問

3月23日、プロサッカーチーム「いわてグルージャ盛岡」の2選手が表敬のため町役場を訪れました。訪れたのは、町PR隊員の加々美登生選手(写真左)と中村太亮選手(写真右)で、チームが県内自治体とコラボにより制作したPR用ポスターとサイン入りユニフォームを佐藤信逸町長へ贈呈しました。平成30年から県内全市町村を本拠地にスポーツ教室を開催するなど、地域の活性化にも取り組んでいるチームですが、その中で両選手は本町の宣伝役としての一翼を担っています。

「鍵かけモデル地区」指定 織笠県営アパート自治会に

地域ぐるみで防犯対策を——。織笠県営アパート自治会(佐々木孝作会長)が、宮古警察署(高橋淳署長)から本年度の「鍵かけモデル地区」に指定されました。4月15日には、山田交番で指定書交付式が開かれ、佐々木会長は「これを機に声を掛け合い、防犯意識を高めていきたい」と活動への意気込みを示していました。今年に入り町内では1件の住宅侵入窃盗被害が発生。同署では「少しの時間であっても外出時の鍵かけを徹底しましょう」と注意を呼び掛けています。



交通死亡事故ゼロを目指そう 運転者にルール順守を呼び掛け

町交通安全対策運動協議会(佐藤信逸会長)が、4月8日、春の全国交通安全運動の一環として、国道45号線沿い中央町交差点など町内4カ所で交通安全運動・街頭啓発活動を行いました。町交通指導隊や町交通安全母の会などから約70人が参加。交通安全を呼び掛けるチラシやティッシュペーパーをドライバーに手渡し「交通ルールを守り、安全運転をお願いします」と呼び掛けました。本町は、平成28年5月25日から交通死亡事故ゼロの記録を更新中です。引き続き安全運転に努めましょう。



町のわだい

今月の題字 佐々木 結愛さん（豊間根小4年）



鯨館が台風被災から完全復活 展示内容充実し全館オープン

台風被災から約1年半ぶりの完全復活。令和元年東日本台風で被災し一部開館としていた鯨と海の科学館が、4月1日に全館オープンし、初の週末となった3日、4日には、町内外の家族連れなど276人が来館しました。施設復旧を終えた館内は被災前のパネル展示や映像コーナーに加え、新たに昔の漁村の様子などを紹介した「座敷わらしのへや」や「深海魚コーナー」など、小さな子どもから大人まで楽しめる展示スペースを設け、内容を充実。さらに、5月30日までは、震災の被災資料や風景写真を展示した特別企画展で見どころを集めています。

町内小学校で一斉に入学式 新1年生81人が元気に登校

ピカピカのランドセルを背負い、元気に登校した児童たち。この春入学した豊間根小学校（門田 徹校長、児童127人）の新1年生9人（男子4人、女子5人）です。入学式では在校生や父母らが温かく見守る中、ちょっぴり緊張した面持ちでしたが、名前を呼ばれると「ハイ」と大きな声で返事。「楽しく勉強していっぱいご飯を食べましょう」との門田校長の呼び掛けにも目を輝かせるなど、希望の春に胸を膨らませていました。4月7日は町内3つの小学校で一斉に入学式が行われ、81人（男子46人、女子35人）が学校生活をスタートさせています。

